

## 2023年 社長年頭挨拶(要旨)について

山陽特殊製鋼株式会社（社長 宮本勝弘、本社 兵庫県姫路市）は、2023年1月5日(木)に本社講堂にて、2023年始業式を挙行いたしました。始業式における社長挨拶の内容(要旨)は以下のとおりです。

昨年を振り返ると、ロシアのウクライナ侵攻を発端に多くの外的要因の影響を受けた一年であったが、各現場の皆さんの努力の積み重ねのお陰で、上期は好調な業績を収めることができた。

しかしながら、エネルギーや資源価格の高騰を背景とする世界的なインフレによる製造コストの高止まりなどにより、当社を取り巻く事業環境は、引き続き予断を許さない状況が続くとみられる。

こうしたなか、適正マージン確保に向けた販売価格の改善や構成の高度化、設備・操業トラブルの未然防止による安定生産、省エネ・省力等のコストダウンの継続に取り組むことが強く求められる。また、当社・Ovako・日本製鉄の3社のシナジーによるベース利益の底上げという他社にはない当社グループの強みを果実としてしっかり享受できるよう、各分野の取り組みを着実に推進し、その実現・前倒し達成に向けて、引き続き注力いただきたい。

ここで、1年の始まりにあたって皆さんにお願いしたい4つのこととお話する。

まずは安全と健康。安全については、関係会社・協力会社と一体となった安全活動を進めていただいているところであるが、ルール通り実行することはもちろん、なぜそうするのか、なぜこのルールがあるのかについて今一度じっくり考えて行動し、一人ひとりが安全に十分留意いただきたい。健康については、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されるなか、うがい、手洗い、換気など感染予防に努めていただきたい。心身ともに健康であるためには、日々の積み重ねが大事である。健康管理も仕事の一部と認識し、皆さん自身に合った方法でぜひとも習慣づけてほしい。

つぎに、困難な課題に対して果敢にチャレンジすること。世界的に地球環境への真摯な取り組みが強く求められるなか、鉄鋼業にとってCO<sub>2</sub>排出削減はハードルの高い課題である。当社は2050年カーボンニュートラル実現に向けて全社を挙げて取り組んでいるが、日々の進化なくしては変化する社会のニーズに対応できず、会社は衰退の道を歩むことになる。当社は今年11月に創業90周年を迎えるが、この先も成長を続けていくためには、社員の皆さんの成長が欠かせない。仕事・私生活に関わらず新しいことに挑戦することを心がけてほしい。

また、世界中でESGへの関心が高まっており、当社も社会の一員として積極的に対応している。いずれの業務も何かしら当社のESGに関する重要課題に関係している。一人ひとりが当社グループの、そして社会の一員であるということをしっかり認識していただき、経営理念に掲げる社会から信頼される会社を目指したい。

そして、当社グループは、日本、欧州、インドに一貫製鉄所を有し、高品質の特殊鋼をグローバルに供給するとともに、各拠点間で切磋琢磨し先進的な取り組みを進めている。世界経済が混沌とする難しい局面において、従業員一人ひとりが責任をもって業務に臨んでいることは、優れた製品品質と高い現場力とともに、当社の強みであると感じている。そのような会社全体の姿をよく知っていただき、皆さんが当社で働いていることに大きな自信をもっていただきたい。

4月からの2023年度は、2021年度からはじまった25年中期計画の重要なターニングポイントとなる。目標として掲げた「グローバルな特殊鋼マーケットでの企業価値の更なる向上」に向けてこれまでの取り組みの継続・深化を進めてまいりたい。

皆さんとともに素晴らしい一年とすることを祈念し、年頭のあいさつとする。

山陽特殊製鋼株式会社

代表取締役社長 宮本 勝弘